

堂 谷 津 の 里 か ら

堂谷津の里は、無事に田植えが終わり、緑一色となった風景が訪れる人に清涼感をもたらしてくれています。今年の田植えは、5月27日にウェザーニューズ社員25名、6月3日に「親子で米づくりと自然の体験」参加の20家族の力を借りて行われました。その後、田の除草や案山子用の竹の切り出し、山林の下草刈りなど(株)ウェザーニューズ様の支援活動があり、7月5日には「親子で米づくりと自然の体験」で作った色とりどりの案山子が田んぼに並びました。これから、豊作を願い稲の生育を見守っていきたいと思います。

また、6月17日に開催の通常総会で承認された2024年度事業報告、決算報告に基づき、千葉市長に事業報告書等を提出しましたが、この間のバランス21の活動について7月2日には千葉市長から感謝状を頂きました。今後とも、谷津田の自然を取り戻し、その活用を図る取組みを進めていきたいと思います。

今回はニュースレターNo.29に掲載したコウモリガによる樹木被害について、調査した結果の概要を掲載します。

【田んぼでは】



【(株)ウェザーニューズ様の支援活動】



コナギの抜き取り



案山子用竹の切り出し



山林の下草刈り

【感謝状】



生き物調査

報告

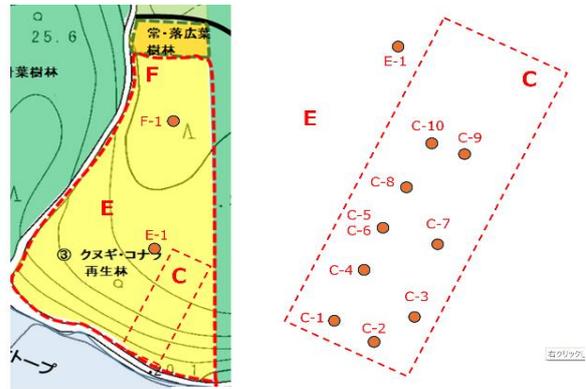
コウモリガによる樹木の食害調査

堂谷津の里には、薪炭林として管理している区画があります。この林内に、コウモリガによって幹に穴がつけられた樹木が複数認められました。初めてコウモリガによる食害を確認したのは2024年11月24日、コナラが地面からやや上の穴の開いた部分から折れていました。その後、谷津田の植林ゾーンの樹木について調査したところ、計23本の食害が確認されました。そこで、特に食害木の多かったCゾーン内に調査区画を設置し、食害率等を調査しました。

[調査結果]

調査範囲内の対象となる樹木は98本でした。そのうち、10本に食害が見られましたが、幹径5.0cm未満の若木に集中しており、径1.5cm未満の細い木に食害は認められませんでした。

また、食害率は全体平均で11.4%でしたが、食害が集中した幹径1.5cm以上5.0cm未満の木に限定した場合の食害率は14.3%で、ほぼ同様であったことから、幼虫の侵入しやすさには幹径の影響があると推察されました。



Cゾーンの調査区画

食害木の幹径と穿孔された穴のある部分の高さの相関は、概ね幹径2.6cmを境として、径の小さい木は高い位置に、径の大きい木は低い位置に分布する傾向が見られました。また、ガの幼虫が侵入した穴の開口している方向はやや東西方向に偏る傾向が見られました。

現在は、Cゾーンを上下面に分割し、下草刈りを行う処理区画と草刈りを行わない対照区とし、下草刈りが食害にどのような影響を与えるか調査を継続しているところです。

コウモリガの食害については、林業や果樹、農作物の被害対策を目的に調査が行われてきました。その結果、農薬による駆除が効果的であること、またガの生活環から、幼虫の食草となる下草を刈ることが重要であることが報告されています。

当谷津田は、この林からもたらされる地下水等を水源として無農薬による稲作を行っていることから、不用意に農薬を使用することは望ましくないと考え、下草刈りによる管理を行っています。

一方で、本来の自然林においては、コウモリガもそれを構成する生物群のひとつです。調査の結果を以て、この薪炭林の管理をどのようにしていくのかを考える端緒になればと考えています。

なお、詳細はリンクから確認ください。(橋本ル) → [調査研究 - balance21 ページ!](#)

<情報コーナー>

2025年度は、斎藤幸一代表理事、月川憲次副代表理事、二宮豊副代表理事の体制で活動していきます。会員の皆さんと力を合わせて堂谷津の里の維持・活用に取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。

なお、ホテルの観賞会は7月19日を予定しています。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://www.balance21-yato.com/>

連絡先：千葉県若葉区谷当町70

TEL & FAX:043-239-0645 (現地)